

第6学年 国語科学習指導案

奈良教育大学国語教育専修

勝田南美

1 単元名（教材名）

古代に生きた人々といまに生きる私たち～『古事記』のなかの人と自然～

2 単元の目標

- (1) 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。 [知識及び技能](3)イ
- (2) 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して、文章全体の構成や展開を考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等]B(1)
- (3) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。 [思考力、判断力、表現力等]B(1)オ
- (4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]

3 本単元で取り上げる言語活動

現代の災害や環境問題等を神や生き物の姿にしてあらわした物語をつくる。

4 指導について

(1)教材について(教材観)

本単元では、現存する日本最古の書物『古事記』に見られる「天岩戸」と「ヤマタノオロチ」の話を取り上げる。「アマテラスオオミカミ」や「スサノヲノミコト」、「ヤマタノオロチ」はいずれも知名度が高く、ゲームなどを通して見聞きしたことのある児童もいるのではないだろうか。また、取り上げた二つの物語は「スサノヲノミコト」を中心とした一続きの物語であり、登場人物や物語の内容に関連性がある。

①「天岩戸」について

アマテラスオオミカミ(太陽神)が弟であるスサノヲノミコトの蛮行を嘆き、巨石で入口を塞いで洞窟に閉じこもってしまう。世界に光を取り戻すために八百万の神々が集結して思案した結果、アメノウズメノミコトの踊りによって岩戸から誘い出すことに成功したという話。太陽が隠れるということは、冬至や日食などを表しているとする説がある。現代では自然現象のメカニズムは科学的に解明されている。しかし、科学技術の無かった古代の人々は、太陽が見えなくなる時間や昼が短い季節には植物が萎れ、寒くなるということを細かい自然の変化から感じ取ることで、太陽が自然に大きな影響をもたらす存在だということに気づいていたのではないだろうか。それらは自然と共に生き、五感で自然を感じて生きていたからこそ分かることだったのかもしれない。そして、そうした膨大な力を持つ存在を神だと考え、自然現象を神の仕業だと考え、祭祀や祈りという形で向き合ったのだろう。

上記のような特徴からこの話は、古代の人々の自然の捉え方や向き合い方を知り、現代の自分たちとの比較をすることで古代とのつながりを感じることでできる教材であると考えられる。

②「ヤマタノオロチ」について

天岩戸事件を経て追放されたスサノヲノミコトがヤマタノオロチという怪物を倒しに行く話。ヤマタノオロチは鬼灯のように赤い目を持ち、八つの頭をもち、その体の長さは谷八つ山八つに渡るほどであったという。蛇の水神信仰や舞台となった出雲に一級河川が存在することなどから、ヤマタノオロチは川の氾濫や洪水などの自然災害を象徴しており、ヤマタノオロチ退治は治水によって災害を防いだことをあらわしているのではないかとする説がある。この説に則ると、スサノヲノミコトが出した、ヤマタノオロチの周りに垣や門を巡らせは八つの酒樽を置くようにという指示も、垣は堤防、門は堰、酒樽は溜池であると考えることができ、酒に酔わせて眠らせて倒したという状況は水の流れを留めて治水したという状況の暗喩であるという捉え方ができる。

上記のような特徴からこの話は、古代の人々の自然災害との向き合い方や協力して災害に立ち向かっていたことを知り、自然を生物の姿で捉える多角的な見方に触れることのできる教材であると考えられる。

③『古事記』について

現存する日本最古の書物である。現行の教科書では「いなばのしろさぎ」や「やまたのおろち」の話を再録しているものもあるが、どの教科書会社も小学校六年間を通してその一話を載せる程度にとどまっている。『古事記』が教科書がから姿を消した時代もあったようだ。ESD という視点から『古事記』の新たな教育的価値や可能性を探ることができるのではないだろうか。

『古事記』を筆頭とした上代古典には古代の日本人の自然との関わり方が強くあらわれている。古代の人々の目を通して自然を見ることで、現代を見つめ直し、未来を見通すことのできる教材である。また、上代古典の中で『古事記』は最も物語性が強く、児童向けの教材として扱いやすいと考える。

(2) 指導について(指導観)

本単元での学習を進めるにあたっての指導・支援等は次の通りである。

- ① 単元の導入部分では、地域の祭りの様子やてるてる坊主といった児童にとって馴染みのあるものを提示する。その際に、前学年までに地域探検等で神社や祭りに訪れた際の写真や映像を用いて、学びの連携を図る。自分たちが普段から祭りや祈りという形で神と接していることや、自分や祭りが何の神様に祈りを捧げているものなのか問うことで、本単元への興味を引き出す。
- ② 単元の展開部分では、「天岩戸」「ヤマタノオロチ」という二つの物語を読むことで古代の人々の自然の捉え方や感じ方に触れ、自分たちの自然との関わりや感じ方等を振り返らせることで、歴史や人のつながりを意識させる。また、使用する教材は、絵本や児童向けに書かれたものを想定しているが、単元で取り上げる予定のものが省かれている場合は、別資料で補足する。
- ③ 単元の集結部分では、実際に自然災害や環境問題を生き物の姿にした物語をつくる活動を行う。その際に班で創作活動を行わせることによって想像したことや考えたことを交流しながら物語を作ることができるようにする。また、作文を苦手とする児童も少なくないため、絵本や漫画という形式でも良いと促す。創作したものを互いに交流することで文章の構成や展開にアドバイスし合えるようにする。

(3) ESD との関連について

【本題材で働かせる ESD の視点(見方・考え方)】

- 相互性：『古事記』にあらわれる古代の人々の自然観を捉えることで、現代に生きる自分たちの自然の見方や感じ方と比較して、違うところや似ている部分を感覚的に理解することができる。古代に生きた人々と

今に生きる自分たちのつながりを感じることを通して、『古事記』や地域の祭りが現代に伝わっていることの重要性に気づくことができる。と考える。

- 連携性:古代の人々が協力して自然災害に立ち向かってきたことと、現代の人々も協力して防災に取り組んでいることを知り、人々の連携を理解する。さらに、人々の連携や協力があるからこそ伝統的なものや文化の継承が可能であることを学ぶことができる。

【育てたい ESD の視点・能力(態度)】

- 繋がりを尊重する態度:古代の人々とのつながりを理解し、その重要性に気づく。伝統や文化の継承だけではなく防災も地域の人々とのつながりが大切であることに気づく。

【育てたい ESD の価値観】

- 自然環境・生態系の保全を重視する:

古代の人々は自然と共に生き、自然の中で暮らしていたからこそ自然の細かい変化を五感で感じ取ることができた。現代では都市化が進み、五感で自然を感じられる場所も機会も少なくなっている。加えて、現代では古代には存在しなかった環境問題も数多く発生している。古代の人々のように自然を尊重し、自然と共存するためには自分たちに何ができるのかを考えるきっかけとなる。

【達成に貢献すると思われる SDGs】

- 11 住み続けられるまちづくりを
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 陸の豊かさを守ろう

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 『古事記』を読むことを通して、自然に対する昔の人のものもの見方や感じ方を知っている。	① 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して、文章全体の構成や展開を考えている。 ② 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	① 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとしている。

6 指導計画と評価計画(全7時間)

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準、評価方法等
1 2	<p style="text-align: center;"><u>第一次 『古事記』を読んでみよう!</u></p> <p>1.地域の祭りの舞や雅楽での奉納の様子やてるてる坊主の画像を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どれも、神様にお祈りをしているんだね。 ・天気とか、豊作についてお祈りしているんだね。 <p>○どんな神様にお祈りしているのかな?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨の神様。太陽の神様。田んぼの神様。 ・日本にはいろんな神様がいるんだね。 <p>→太陽の神様は「アマテラスオオミカミ」。『古事記』という本にこの神様のお話書かれているんだよ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>☆昔の人々は自然災害や自然現象をどのように捉えていたのだろうか?</p> </div> <p>2.「天岩戸」の話を読む。</p> <p>○太陽の神様が引きこもってしまうと、地上ではどんな自然現象が起きるかな?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽が出なくなるから、暗くなったり寒くなったりする。 ・植物が育たなくなる。 <p>→古代の人々は自然に起こる現象を神様の仕業だと考えていたんだね。</p> <p>○太陽の神様を岩戸から出すためにどんなことをしていたかな?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌や踊りをして誘い出していた。 <p>→これって今のお祭りでの舞とか雅楽での奉納に似ているよね。古代の人々は自然災害に、祈ったりお祭りをする事で向き合っていたんだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前学年までの地域学習で学んだことを想起させる。 ・自分が普段神頼みをするときに何の神様に祈っているのか考えさせる。 ・神社によって祀る神様が違うことを捉えさせる。 ・理科で学んだ知識を活用して考えるように促す。 ・古代からの祈りや願いが現代にも継承されていることや、様々な人の協力があって現代に続いていることを捉えさせる。 	<p>【知・技①】『古事記』にあらわれる古代の人々のものの考え方や感じ方を捉えている。<u>ノート、ワークシート</u></p>

古代の人々の自然の捉え方を知り、現代と比較する。

<p>3 4</p> <p style="writing-mode: vertical-rl;">古代の人々が自然を神様や生物の姿にして物語をつくったことを知り、その意味を考える。</p>	<p>→「ヤマタノオロチ」に関するお話も自然災害を表したものだと言われているんだよ。</p> <p>3.「ヤマタノオロチ」の話を読む。</p> <p>○ヤマタノオロチはどのような自然災害を表しているのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマタノオロチは山や谷川を連想させるね。 ・川の氾濫や土砂崩れなどの自然災害を表しているのかも。 <p>○スサノヲミコトはどうやってヤマタノオロチを退治したのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8つの垣と門をつくった。 ・8つの酒樽を置き、酔わせて眠らせた。 ・眠らせて動きを止めるということは水の流れを止めることを表しているのかもね。堤防とか溜池のことなのかも。 ・クシナダヒメ(櫛名田、奇稻田)の名前から田んぼが連想されるね。クシナダヒメを救ったというのは、田んぼや畑を守ったということを表しているのかも。 <p>→ヤマタノオロチの話は氾濫や土砂崩れといった自然災害を治水によっておさめたというお話なんじゃないかな。</p> <p>→古代の人々は、自然を神様や生物の姿にして物語をつくったんだね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>★古代の人々はなぜ自然を神様や生物の姿にして物語をつくったのだろうか。</p> </div> <p>4.二つの物語が作られた意味や理由について考える。</p> <p>○二つのお話を読んだときにどんなことを感じたかな？</p> <p>○擬人化にはどんな利点があるのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい、面白い ・小さい子でも読める ・お話として人から人に伝えていける <p>→次の世代の人々のことを考え、知恵を繋げようとした。</p> <p>→いろいろな人が読めるようにすることで、自然災害の恐ろしさや向き合い方をわかりやすく伝えることができるようにしたんだね。</p>	<p>・あくまで一説であることに留意する。</p>	<p>【態①】『古事記』の二つの話には古代の人々の工夫や知恵が見られることを理解し、自然や歴史を尊重しようとしている。その<u>ノート</u>、<u>ワークシート</u></p>
--	--	---------------------------	---

<p>現代に生きる自分たちができていることを考える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>☆自然災害や環境問題を伝えるために、わたしたちには何ができるだろうか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りや伝統を継承する。 ・物語を伝える。 <p>→「天岩戸」や「ヤマタノオロチ」のように、自然災害や環境問題を神や生き物の姿にして表した物語を作ってみよう。</p> <div style="background-color: #cccccc; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>総合的な学習の時間</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ① 現代の自然災害や環境問題について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りや祈りが現代にも続いていたことを思い出させる。 	
<p>567</p> <p>物語をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、温暖化など <ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や環境問題についてどのような対策がされているのかな？ ② 災害対策センターの人に災害や防災に関するお話を伺う。 ③ 地域の農家の人に自然との向き合い方に関するお話を伺う。 <div style="background-color: #cccccc; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>第三次 物語をつくろう!</p> </div> <p>5.物語をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○何の自然災害や環境問題について伝えたい？ ○誰に伝えたい？ <ul style="list-style-type: none"> ・昔は文章だったけど、今はもっといろいろな伝え方が増えているよね。 <p>→絵巻(絵本)、作文、漫画等から形式を選んで物語を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の人々の自然との向き合い方や自然災害に対する思いを聞けるようにする。 ・文章の構造や表現に注意して書かせる。 	<p>【思・判・表①】 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して、文章全体の構成や展開を考 えることができる。</p> <p>【思・判・表②】 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文 や文章を整えることができる。<u>ワ</u> <u>ークシート</u>、<u>成果</u> <u>物</u></p>
<p>事後</p> <p>発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 低学年の児童に読み聞かせをする。 ② 地域の方を招いたお話を開催する。 		